

境港新時代の到来 に備えて



安田 優子 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 躍進途上にある境港は、竹内南岸壁の完成により新時代を迎えることになるが、それ迄に①岸壁から国道431号までの道路の4車線化②江島大橋に向かう渡・余子停車場線の整備③米子までの高速道路が必要である

答 ①431号交差点に米子方面への左折レーンをつくるなど改良が必要。団地の中は今後検討②踏切歩道整備の実現を図りたい。高架化については今年度調査の結果をみて考える③現在のあり方勉強会を検討会に格上げし、国の動きをつくっていく。

鳥取空港にLCC 格安航空の誘致を



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 来年7月、開港50周年の鳥取空港に是非LCCの誘致を。合わせて東京便の運賃高止まり対策として現行のシルバー割の「年齢撤廃」を全日空に提案を。

答 アジア全体では富裕層もLCCを利用。各会社の戦略を研究し、働きかけを頑張っている。東部経済界にも協力を求め進めて行きたい。シルバー割はゼロをプラスにする合理的な制度でどんな年齢層でも利用できるような提案したい。また海外からのインバウンドを増やすため羽田乗継ぎ割引を全日空と協議中。

弱者への切れ目の ない支援について



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 民主党

問 女性活躍推進課へ名称変更の意図を問う。発達障がい児の親やシングルマザーなど困難を抱える親に対し、子の自立までの切れ目のない支援やそのための人材育成、また専門家チームで支えていくことが必要だ。

答 課の名称変更は女性の活躍の場と尊厳を次のステージへ上げるためである。女性や子どもの問題は皆つながった一つの課題。今後人材を育成し、その人材が協同して課題に対処していく。質問趣旨に対し市町村等と協同して向き合っていきたい。

米を再生産可能に 保育士の処遇改善



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 民主党

問 ①TPPは米価の採算割れを固定化する。所得補償を復活させるなど、再生産可能となるよう国にコメ政策の転換を求めるべき。②保育実態に合わせて保育士の配置基準を見直し、処遇改善に取り組むべき。

答 ①政権交代により所得保障から政策の哲学が変わった。飼料米の交付金の補償など持続可能な対策を求め、県でも農家支援に取り組む②4・5歳児の保育士加配など、市町村によって意見が分かっている。保育士の処遇改善にむけ、改めて協議する。

県立高校の今後の 在り方基本方針案



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 平成31年から37年は、原則学級減で対応し、特色ある取り組みをする小規模校はその存続に最大限の努力をするという方針案を知事はどう考えるか。

答 学校の在り方は地域の振興と深くかかわっている。教育委員会の検討を注視していきたい。ただ、中山間地の小規模校が、地域行事のお手伝いをするとか、農業体験を一緒にやるだけでは、生徒が入学を希望する特色ある学校づくりには不足と感じる。特色ある学校づくりの予算は適切に措置する。

水素社会に向けて 高校の通級指導



澤 紀男 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

問 水素社会の実現に向けて、メタンハイドレートの調査研究にも力を入れるべきでは。

答 国の予算の中に日本海側におけるメタンハイドレートの賦存量調査などが盛り込まれている。県としてもサポートし水素社会実現につながる研究が進むよう環境づくりを進めていく。

問 高等学校の通級指導の制度化が検討されているが体制は。

答 (教育長) 指導主事を全国規模の研修会に派遣するほか、教育委員会に内部検討組織を立ち上げ準備したいと考える。

分断社会から連帯 でつなぐ取り組み



長谷川 稔 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 所得による行政サービスの選別主義でなく、すべての人に提供し、全員が連帯でき行政サービスに支えられている領域の増大をはかる思想に対する知事の所見は。児童手当での所得制限など国レベルの課題の中、保育料第二子無償化問題の取扱いは。

答 新自由主義から連帯をキーにユニバーサリズムに共鳴。国は金銭給付で所得格差を埋め、地方は地域の実情に応じ行政サービスを提供する。障がい者福祉の先端モデルも保育料も市町村をサポートしてきた。社会モデルが変われば動いていく。

雇用問題について 入札問題について



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①高校生の就職活動の支援のために、準中型免許の新設に伴い、高校生の自動車学校への幅広い分散入所を可能とすべきと思うが見解を伺う②建築分野における予定価格の事後公表の拡大について、総価契約の弊害等の問題点を、事前に解決すべきと思うが見解を伺う。

答 ①（教育長）取得時期等も含め配慮するよう改めて学校を指導してまいりたい②いろいろ関係者、業界等の意見を聞きながら、改善すべき点は改善、見直しをしてまいりたい。

人口減少の取組と 県立高校の在り方



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

問 ①県外学生をUターン就職させることが社会減の解消につながると思うが、県内企業の就職情報が十分に得られていない。企業情報提供方法の検討必要②高校の統廃合・再編計画策定の過程で県教委の一方的な判断ではなく、地域と十分意見交換、理解を得る必要があるが。

答 ①メルマガの発行、保護者へのダイレクトメールの発送。さらに本県独自の未来人材育成基金をスタートさせた。②（教育長）そのとおり。現段階から十分意見交換を行い、進める。

県立中央病院のあ り方について



西川 憲雄 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 ①県東部の中核の中央病院は自治体病院との連携が不可欠。地域医療構想への対応や病床区分の予定は②320億円の建設資金の財源と返済計画は③増加が予想される脳疾患の対応は

答 ①中央病院は500床ベースの高度急性期医療を中心に行う。自治体病院との病々連携を考え地域医療構想策定中。（病院事業管理者）②自己資金は60億円、一部国庫補助、残は企業債充当。建物30年、機器5年で返済③脳卒中センターを新設し45床で対応。医師も増やす予定。

障がい者雇用の職 場環境整備強化へ



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 本県の障がい者の雇用率は1.99%で、達成企業率は54.8%、約5割近い企業が未達成。雇用率を上げる為には、生活指導員の配置基準を現在の障がい者2人以上から1人以上に引き下げる等、職場の環境整備に取り組むべきと考えるが知事に問う。

答 企業と福祉サービス事業所指導員との連携を図っていく。法定雇用率達成が必要な企業に生活指導員資格認定の研修への参加を呼びかける。現在の2人以上ではなくさらに下げて進めていきたい。

環境大学の新学部 設置について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 環境大学については、過去の倍率が6.7倍を超えている。また、県と鳥取市が運営交付金を支出しているが、1億円以上多い額を国からもらっている状況。負担も少なくニーズがあるなら、新学部を作り、募集定員も増やすべきと思うがいかがか。

答 新学部というようなお話も可能性としてはあるが、かなり大きな議論をしていかないとそのところは難しかりょうと思う。

緊急事態条項、 TPP、若者支援



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 共産党

問 ①自民改憲案・緊急事態条項の所感②TPP撤退と国影響試算の対応③美術館未決定なのに場所を市町村に提案させ無責任。凍結時より県予算1000億少なく中止を④精神2級に県医療費助成を⑤鳥取市中学校の通級教室増設⑥母子父子寡婦資金の運転免許支援は大卒も⑦鳥取の看護師修学資金の申込期間延長

答 ①国民合意が必要②検証求める③県民意見聞き最終案まとめる④市町村に意見聞く⑤全県小学校2・中学1増⑥国に確認⑦合格後の申込みも大学と相談

介護処遇改善と 産廃処分場予算



錦織 陽子 議員

選挙区 米子市
会派 共産党

問 ①米子市内の介護通所事業所アンケートを私的に実施。事務手続きの簡素化と介護職員の処遇改善に県助成を望む声が多く検討を②28年度予算の産廃最終処分場調査検討費で地元6自治会事前説明会に840万円。なぜ県が費用負担するのか。

答 ①国が事務の簡素化を検討中。国改定の介護職員処遇改善加算Ⅰを未取得の事業所に加算取得の支援をする②環境管理事業センターは自己財源がないため。地元説明会の際の丁寧な資料作り、技術関係者同席の経費。

公文書館に魂を！ 条例に収集権明記



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 民主党

問 今の県立公文書館は、図書館の収蔵と何ら変哲もない。内向きとなっている条例を改めて見直すべきではないか。

答 県も市町村も反省を込めて申し上げれば、公文書館を単なる書庫と勘違いされている向きもある。条例改正にあたっては、歴史に敬意を払い、それを後世に伝えていく意味で、必要だという文書を収集する権能を明記し、ある程度見識のある方にやっていただく、いわば志ある公文書館としての魂を入れることを改めてやる必要がある。

観光戦略と 境港魚市場整備



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①総合的な見地で西部圏域の道路網について調査研究すべき②ミシュランガイドの制作はどんな手法、どんな構想や狙いで作成するのか③境漁港が高度衛生管理型市場となった際に関係者が負担する施設利用経費は従来と変わるのか。

答 ①検討会を設置し、物流や人の流れなど新年度に調査する②相当する店舗はある。ミシュランのネットに掲載、あるいは山陰版ガイドの作成など研究する③使用料の大幅な引上げはしないことを基本に考えていく。

児童養護における 里親制度について



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 民主党

問 里親の皆さんは本当に大変な仕事をしている方々。ところが、世間に知れ渡っていないため、増えていない。広報についてぜひやっていただきたい。

答 海外で里親制度は非常に広く行われて当たり前のように存在するが、我が国の場合、まだ十分に行き渡っていない、そこに踏み込んでいく方々がまだ十分ふえていないという状況。片方で里親を必要としている子どもたちがいる。鳥取県から、そうした絆をつくっていただけるように努力したい。

美術館建設に 異議あり！



福間 裕隆 議員

選挙区 西伯郡
会派 民主党

問 ①平井県政1期目より、財政事情がよくなったと判断されているのか！博物館も含めた維持修繕費が100億プラス幾らか総枠を明らかにすべき②改めて県民アンケートをやるべき！

答 ①平成19年と今を比べてみれば借金は1,400億減。経常収支比率は全国18位から2位に(教育長)ランニングコスト、現博物館の再整備経費は今後示していく②県民の御意見を改めて問い直す機会は必要(教育長)基本構想を県民の皆様を示し改めて判断を仰ぐ。